

ケンコーマヨネーズ株式会社【証券コード：2915】

2025年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明会



2024年11月20日

- 1. 2025年3月期 第2四半期（中間期）
決算概要**
- 2. 2025年3月期 業績予想**
- 3. 中長期経営計画
『KENKO Vision 2035』の進捗**
- 4. 質疑応答**

1. 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

代表取締役社長 島本 国一



売上高 26億円増収
営業利益 24億円増益

- ・タマゴ加工品の数量回復
- ・価格改定効果

売上高・営業利益ともに
第2四半期 過去最高を更新

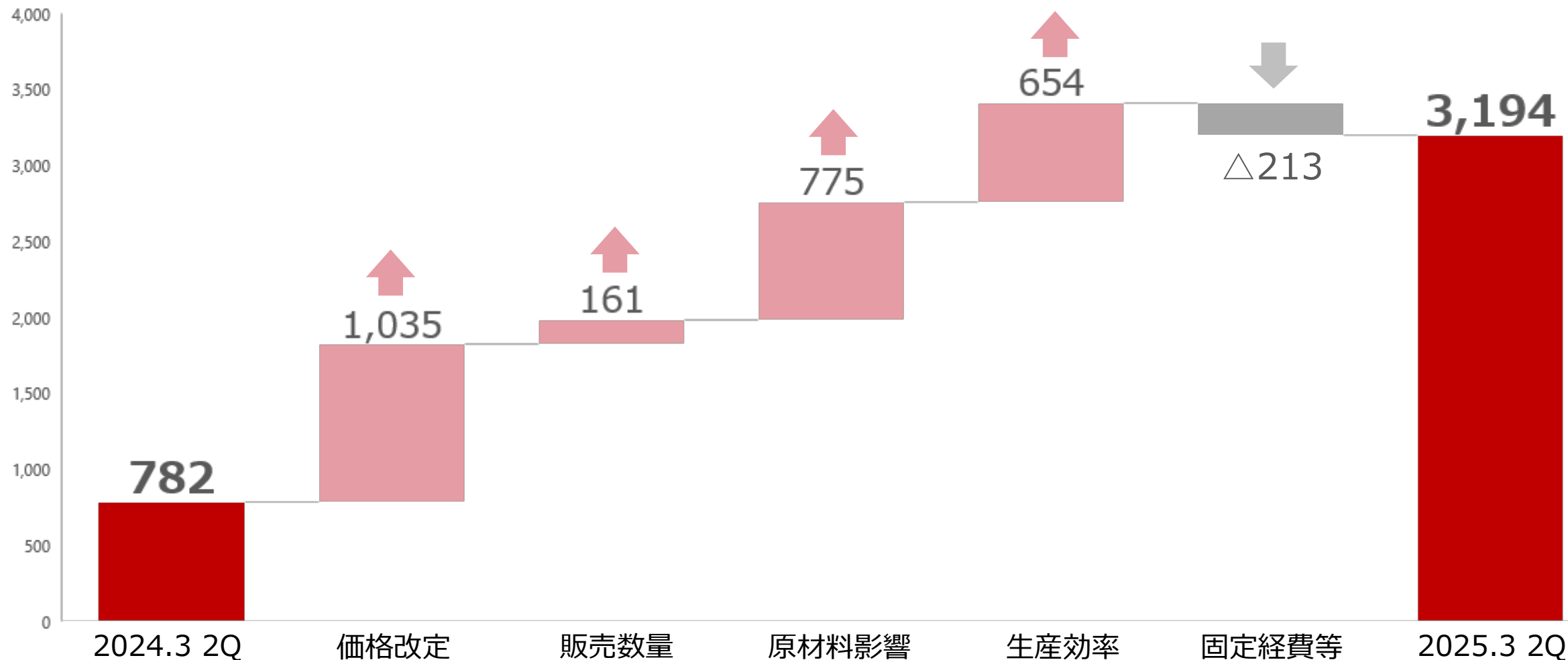
| | 2024年3月期 第2四半期 | 2025年3月期 第2四半期 | |
|----------------------|-------------------|-------------------|---------|
| | 実績 | 実績 | 前年同期比 |
| 売上高 | 43,763 | 46,455 | +6.1% |
| 売上総利益 (売上総利益率) | 8,079 18.5% | 10,848 23.4% | +34.3% |
| 販売費及び一般管理費 (販管費率) | 7,296 16.7% | 7,654 16.5% | +4.9% |
| 営業利益 (営業利益率) | 782 1.8% | 3,194 6.9% | +308.0% |
| 経常利益 (経常利益率) | 847 1.9% | 3,272 7.0% | +286.3% |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | 542 1.2% | 2,246 4.8% | +314.1% |
| 1株当たり中間純利益 | 33円65銭 | 140円61銭 | |

(単位：百万円)

連結營業利益 増減要因 <前年同期比>



(単位：百万円)



前年同期比+2,411百万円

セグメント別実績



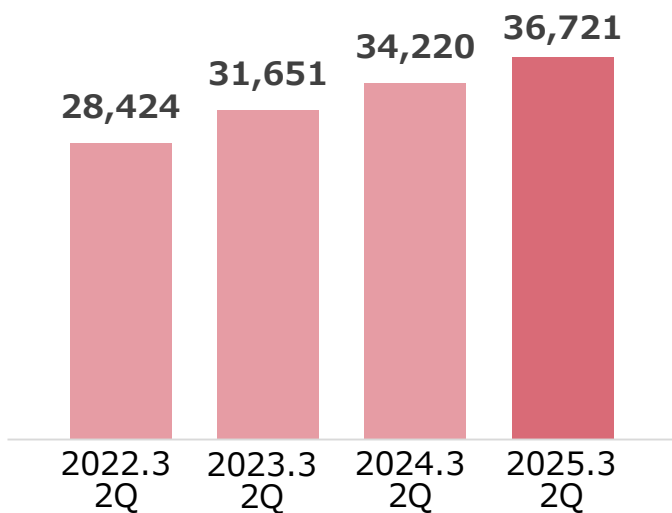
| (単位：百万円) | 2024年3月期 第2四半期 | 2025年3月期 第2四半期 | 前年同期比 |
|------------------------------|-------------------|-------------------|----------------|
| 売上高 | 43,763 | 46,455 | +6.1% |
| ■ 調味料・加工食品事業 ※ケンコーマヨネーズ本体の事業 | 34,220 | 36,721 | +7.3% |
| ■ サラダ・総菜類 | 10,752 | 10,658 | △0.9% |
| ■ マヨネーズ・ドレッシング類 | 13,654 | 13,825 | +1.3% |
| ■ タマゴ加工品 | 8,951 | 11,360 | +26.9% |
| ■ その他 | 861 | 876 | +1.8% |
| ■ 総菜関連事業等 ※連結子会社の事業 | 9,090 | 9,300 | +2.3% |
| ■ その他 ※サラダカフェ | 453 | 433 | △4.4% |
| セグメント利益 | 782 | 3,194 | +308.0% |
| ■ 調味料・加工食品事業 | 316 | 2,670 | +744.0% |
| ■ 総菜関連事業等 | 443 | 448 | +1.0% |
| ■ その他 | 0 | 1 | +280.7% |
| 調整額 | 22 | 74 | +234.8% |

セグメント別実績

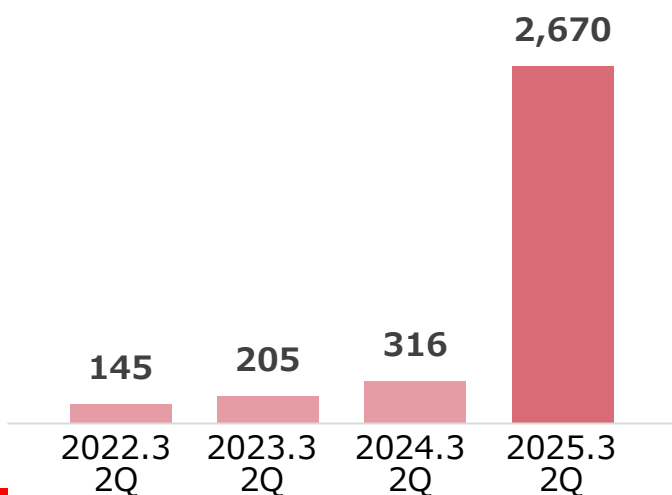
■ 調味料・加工食品事業



■ 売上高 (単位：百万円)



■ セグメント利益 (単位：百万円)



売上高

増収
(前年同期比+7.3%)

- ・高病原性鳥インフルエンザ感染拡大後のタマゴ加工品の回復
- ・タマゴサラダが好調 (CVS、製パン向け他)
- ・サラダは小容量サイズが引き続き伸長

セグメント利益

増益
(前年同期比+744.0%)

- ・主要原料価格の安定
- ・タマゴ加工品の数量回復による生産効率の改善
- ・前期2Qに実施したロングライフサラダ類、和惣菜の価格改定の浸透

▼ 商品が評価され受賞



第27回 業務用加工食品
ヒット賞を受賞



付加価値と
汎用性で
外食産業の
発展に貢献



第54回 食品産業技術功労賞
(サステナビリティ部門) を受賞

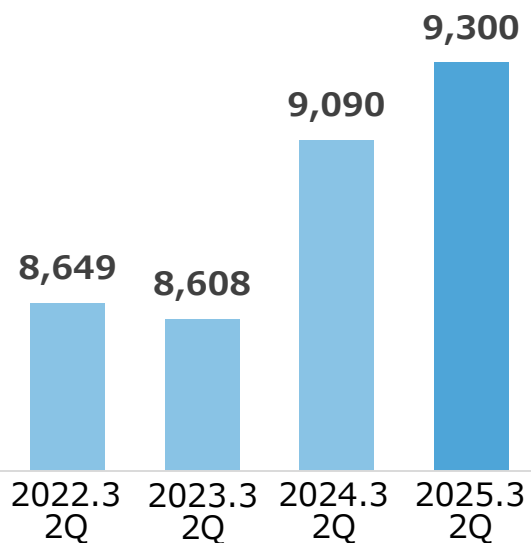


アップサイクル
商品の充実が
評価

セグメント別実績 ■ 総菜関連事業等 ■ その他



■売上高 (単位: 百万円)



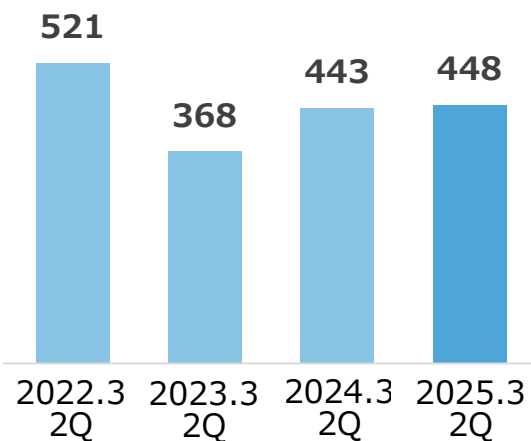
売上高 増収
(前年同期比+2.3%)

- ・販売領域の拡大
- ・マーケットイン発想の商品化
- ・各社の強みを生かした提案

セグメント利益 増益
(前年同期比+1.0%)

- ・付加価値を高めた商品開発
- ・商品統廃合やNB商品の積極導入の推進

■セグメント利益 (単位: 百万円)



▼おつまみ総菜の開発

おかずにもおつまみにもなる総菜の発売



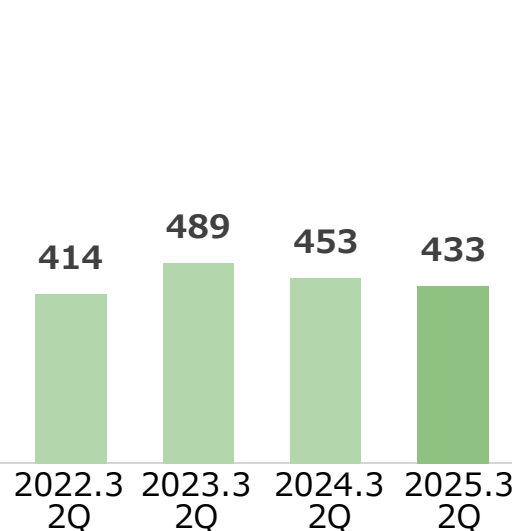
居酒屋にありそうな
ポテトサラダ



豚肉と春雨の
旨辛炒め

グループ内で成功事例の横展開

■売上高 (単位: 百万円)



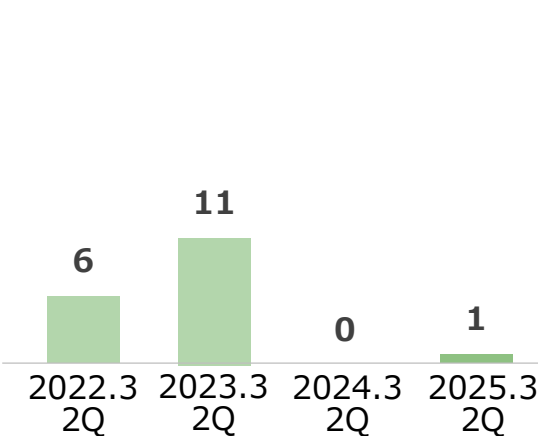
売上高 減収
(前年同期比△4.4%)

- ・1店舗の退店
- ・商品力の強化

セグメント利益 増益
(前年同期比+280.7%)

- ・経費対策、店舗対策、商品対策による仕組みの見直し
- ・8月実施の価格改定の浸透

■セグメント利益 (単位: 百万円)



▼サラダ料理の進化

見て楽しい、食べて嬉しいサラダの新しい味を創造、心と体に優しいサラダ料理

ポテトサラダの進化 カラダに優しいサラダ



インパクト抜群



美味しく食べて
健康に

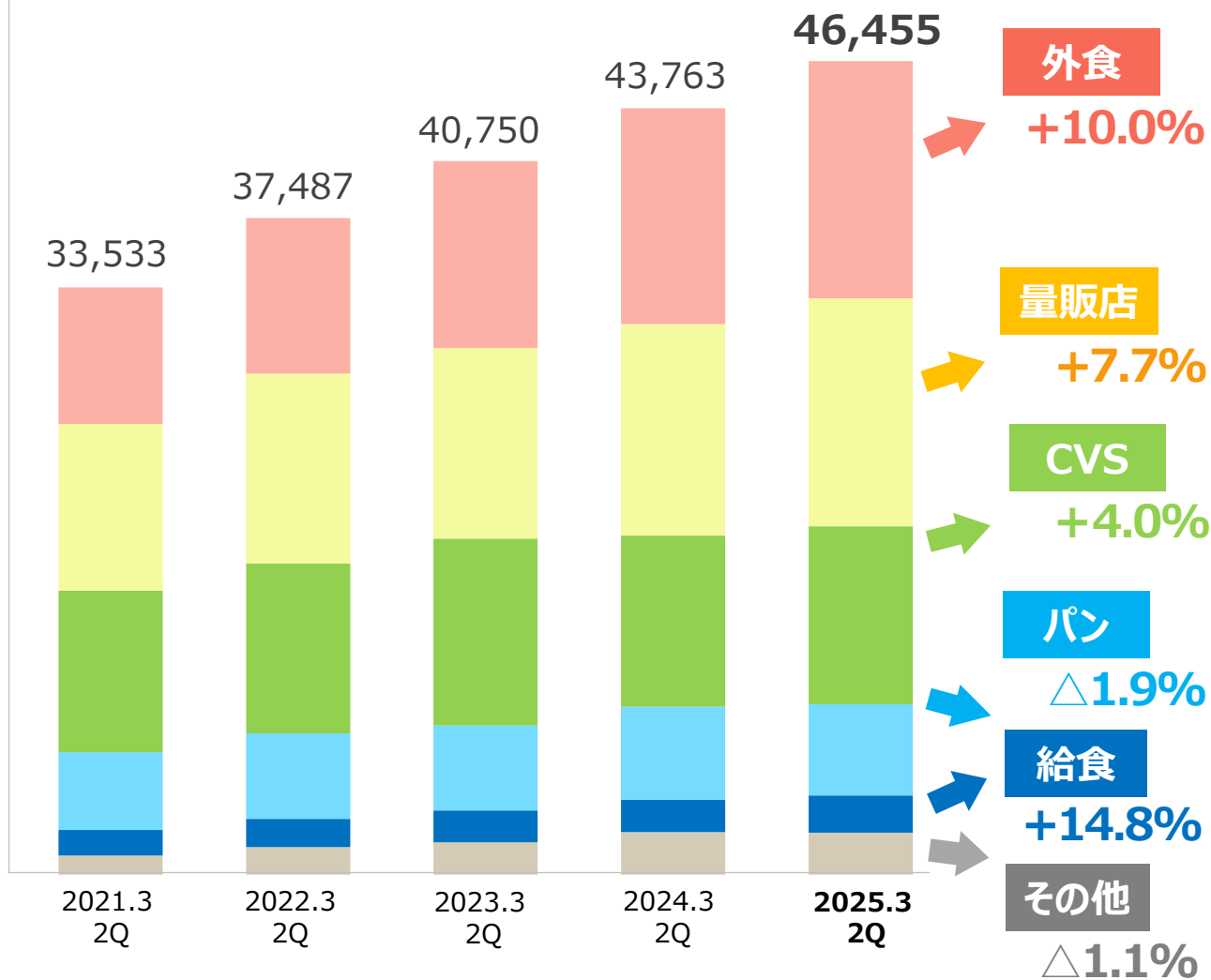
※サラダ料理は、ケンコーマヨネーズの登録商標です。

販路別売上高（連結）

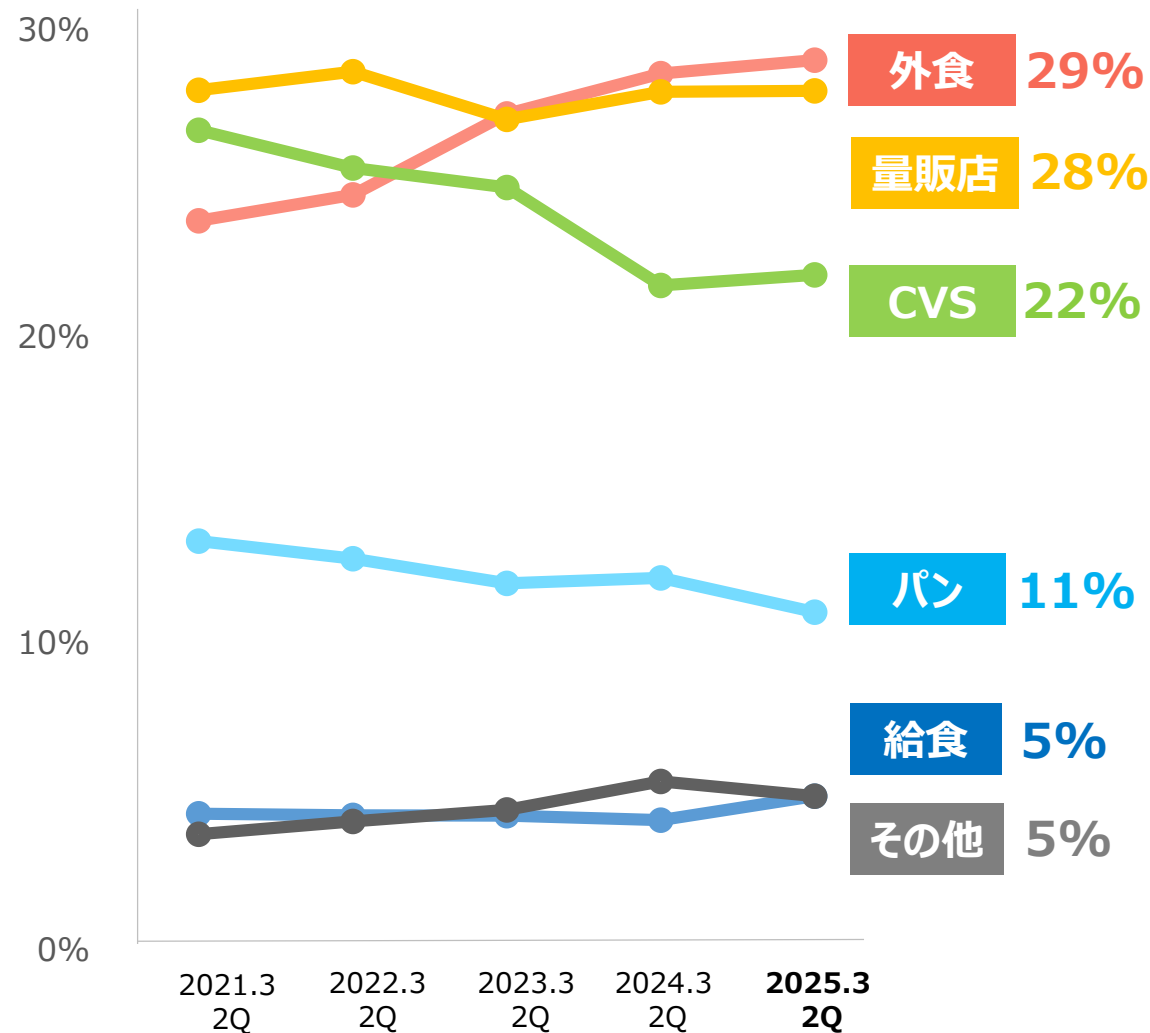


販路別売上高

(単位：百万円)



販路別売上高 構成比



貸借対照表（連結）



| | | 2024年3月期 | 2025年3月期 第2四半期 | 前年度末比 |
|--------------------|------------|-----------|-------------------|--------|
| * 長期未払金を含む（単位：百万円） | | | | |
| 資 産 | 流動資産 | 36,575 | 35,631 | △2.6% |
| | 固定資産 | 30,795 | 29,812 | △3.2% |
| 資産合計 | | 67,370 | 65,443 | △2.9% |
| 負 債 | うち有利子負債残高* | 6,881 | 5,904 | △14.2% |
| | | 28,391 | 24,672 | △13.1% |
| 純資産 | | 38,978 | 40,771 | +4.6% |
| 負債・純資産合計 | | 67,370 | 65,443 | △2.9% |
| 1株当たり純資産 | | 2,439円95銭 | 2,549円98銭 | - |
| 自己資本比率 | | 57.9% | 62.3% | +4.4% |

ポイント

▼資産

- ・売掛金の減少 1,256百万円
- ・機械装置及び運搬具の減少 581百万円

▼負債

- ・未払金の減少 1,077百万円
- ・買掛金の減少 2,018百万円

▼有利子負債の減少

自己資本比率 **62.3%**
安定した財務基盤の継続

キャッシュ・フロー計算書 及び 設備投資額・減価償却費 (連結)



キャッシュ・フロー計算書

| (単位：百万円) | 2024年 3月期 2Q | 2025年 3月期 2Q | 増 減 |
|----------------------|-----------------|-----------------|--------|
| 営業キャッシュ・フロー | 3,157 | 1,531 | △1,626 |
| 投資キャッシュ・フロー | △427 | △488 | △60 |
| フリーキャッシュ・フロー | 2,730 | 1,043 | △1,687 |
| 財務キャッシュ・フロー | △1,198 | △832 | +366 |
| 現金及び現金同等物の 中間期末残高 | 13,820 | 15,940 | +2,120 |

設備投資額・減価償却費

| (単位：百万円) | 2024年 3月期 2Q | 2025年 3月期 2Q | 増 減 |
|------------|--------------------|--------------------|------|
| 設備投資額合計 | 348 | 366 | +18 |
| 調味料・加工食品事業 | 317 | 231 | △86 |
| 総菜関連事業等 | 30 | 135 | +104 |
| その他 | 0 | 0 | 0 |
| 減価償却費合計 | 1,379 | 1,155 | △224 |
| 調味料・加工食品事業 | 990 | 802 | △188 |
| 総菜関連事業等 | 387 | 352 | △35 |
| その他 | 1 | 0 | △1 |

営業CF

税金等調整前中間純利益は増加だが、未払金、仕入債務により減少

投資CF

有形固定資産の取得による支出

財務CF

配当金の支払、長期借入金の返済による支出

2. 2025年3月期 業績予想

2025年3月期 業績予想（連結）



売上高3.7%増収、営業利益52.6%増益

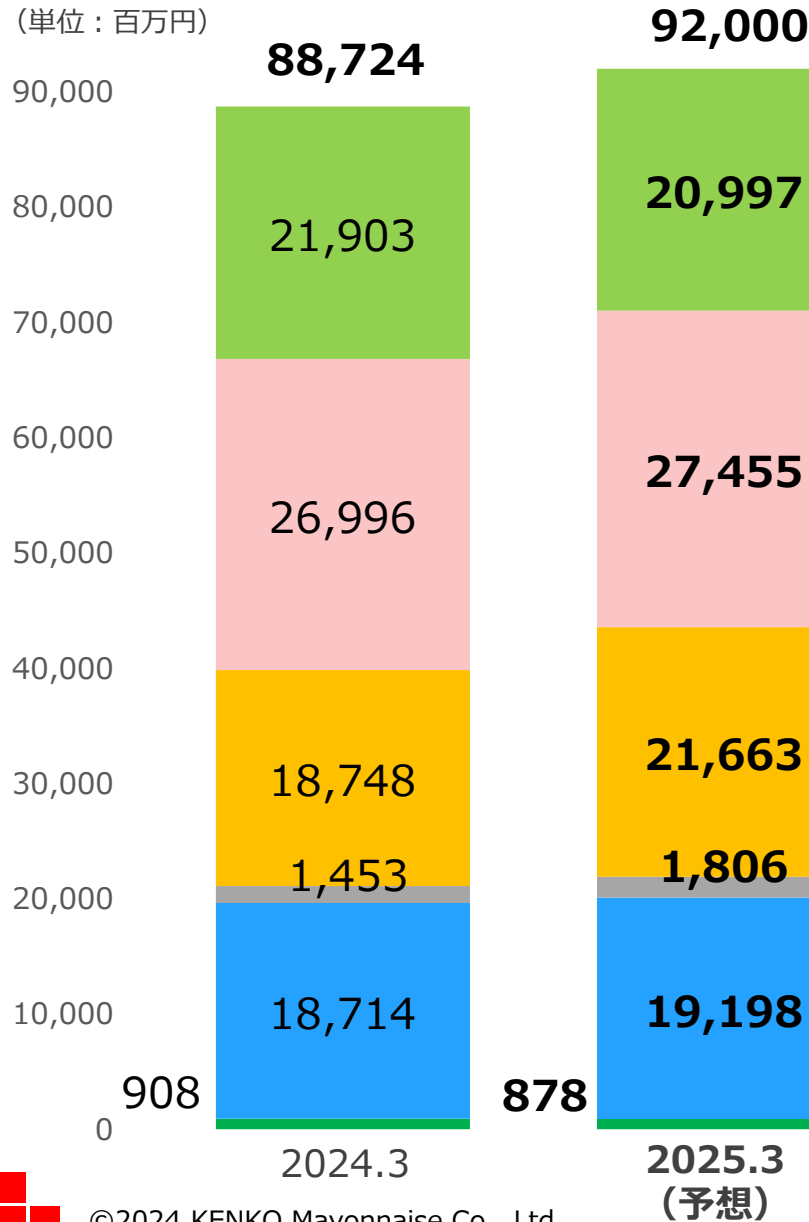
▶ 売上高の拡大、生産効率を向上させ過去最高の売上高・営業利益を目指す

| | 2024年3月期 (実績) | 2025年3月期 (期初予想) | 2025年3月期（予想） (8月5日修正) | |
|---------------------|------------------|--------------------|--------------------------|---------|
| | 金額 | 金額 | 金額 | 前年同期比 |
| 売上高 (単位：百万円) | 88,724 | 90,000 | 92,000 | + 3.7% |
| 営業利益 | 2,949 | 3,200 | 4,500 | +52.6% |
| % | 3.3% | 3.6% | 4.9% | |
| 経常利益 | 3,099 | 3,300 | 4,650 | +50.0% |
| % | 3.5% | 3.7% | 5.1% | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 2,735 | 2,260 | 3,185 | + 16.4% |
| % | 3.1% | 2.5% | 3.5% | |
| 1株当たり当期純利益 | 169円90銭 | 140円37銭 | 197円82銭 | |

2025年3月期 セグメント別売上高予想



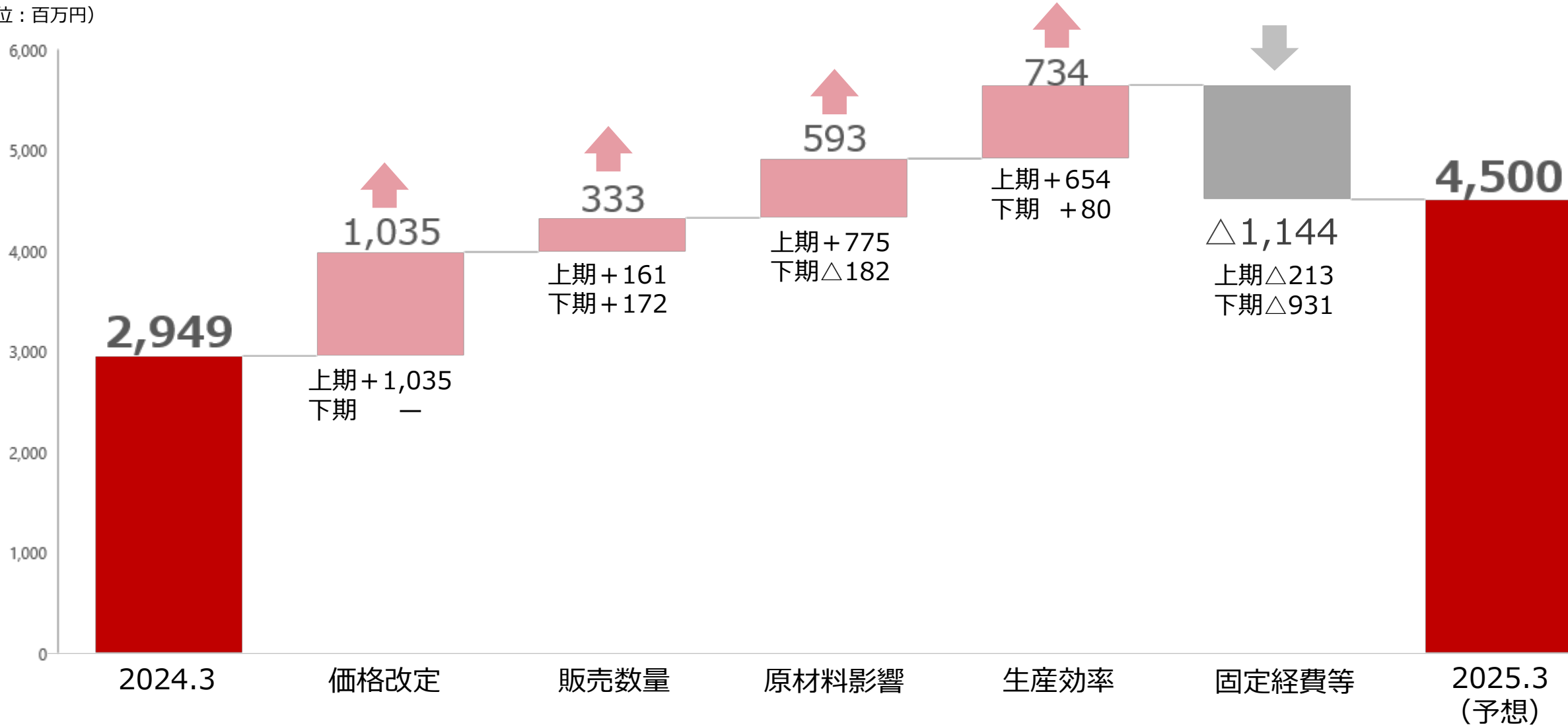
(単位：百万円)



| セグメント | 前年同期比 | 今期ポイント |
|-----------------|--------|--|
| ■ 調味料・加工食品事業 | +4.1% | ● タマゴ加工品の回復 ● 各商品群の 販売促進活動を計画 ● 商品のリニューアルに 伴う販売の強化 |
| ■ サラダ・総菜類 | △4.1% | |
| ■ マヨネーズ・ドレッシング類 | +1.7% | |
| ■ タマゴ加工品 | +15.5% | |
| ■ その他 | +24.3% | |
| ■ 総菜関連事業等 | +2.6% | ● 販売カテゴリ・チャネル拡大 ● 高単価商品の導入 |
| ■ その他 (サラダカフェ) | △3.3% | ● 1店舗退店 ● 市場競争激化への対応 |

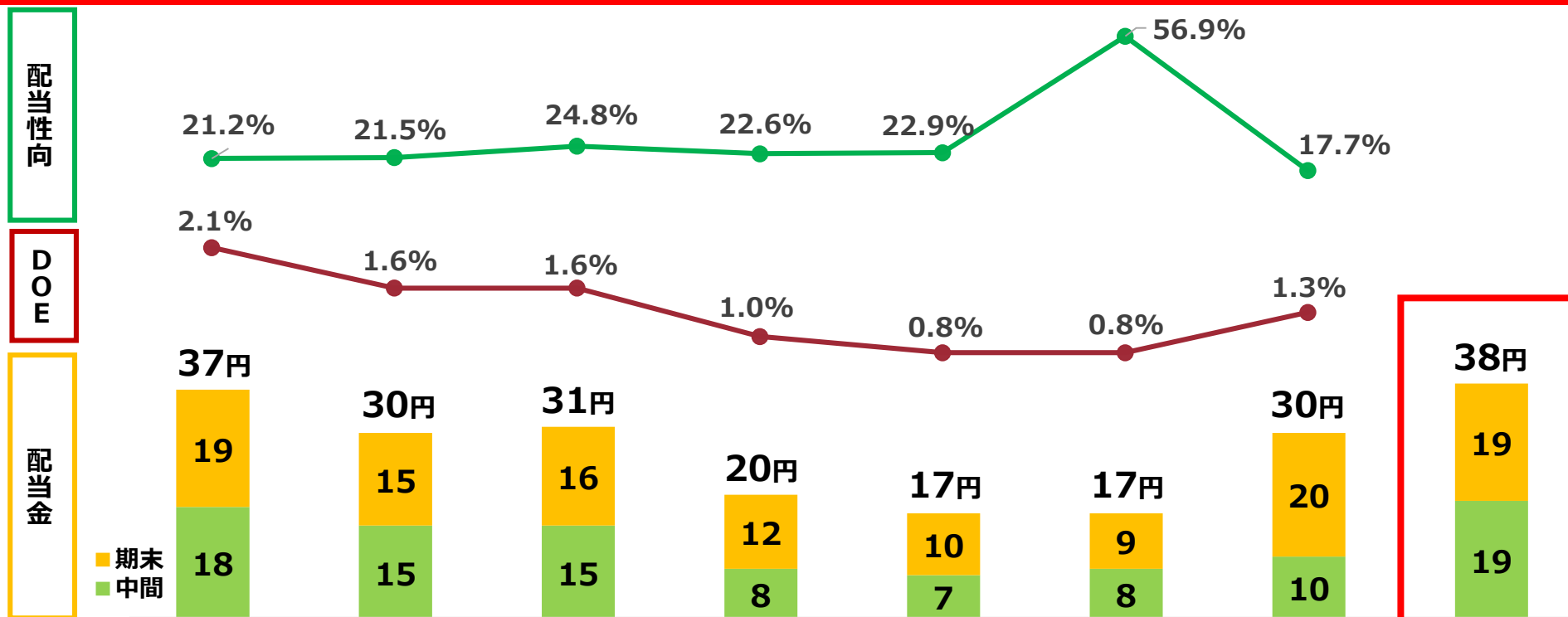
連結営業利益 増減要因 <見通し>

(単位：百万円)



前年同期比 + 1,551百万円

株主還元・配当予想



(円/株)

| | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 2024年3月期 | 2025年3月期(予想) |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|
| 配当金 (円/株) | 37 | 30 | 31 | 20 | 17 | 17 | 30 | 38 |
| 配当性向 (%) | 21.2 | 21.5 | 24.8 | 22.6 | 22.9 | 56.9 | 17.7 | 19.2 |
| 配当利回り (%) | 1.06 | 1.37 | 1.52 | 1.06 | 1.23 | 1.41 | 1.49 | - |
| 株主資本配当率 (DOE) (%) | 2.1 | 1.6 | 1.6 | 1.0 | 0.8 | 0.8 | 1.3 | - |

配当性向 = 1株あたり配当金 ÷ 1株あたり純利益 × 100

配当利回り = 1株あたりの配当金(合計) ÷ 各年3月末日時点株価(終値) × 100

株主資本配当率 (DOE) = 配当金総額 ÷ ((期首株主資本 + 期末株主資本) ÷ 2) × 100

3. 中長期経営計画 『KENKO Vision 2035』

『KENKO Vision 2035』の全体像



企業理念

(ミッション+パーパス)

守るべきもの ▶ 心身（こころ・からだ・いのち）と環境
使命 ▶ 食を通じて世の中に貢献する。

ビジョン（目指すべきもの）

『サラダ料理で世界一になる』

KENKO Vision 2035 基本戦略

成長戦略

-Growth Strategy-

スマート化

-Automation and Innovation-

KENKO Vision 2035
基本戦略

サステナビリティと 社会的責任

-Natural resource
sustainability, Social
responsibility-

人材投資

-Investment in
People-

経営基盤強化

マテリアリティの特定



KENKO Vision 2035

基本方針

持続的な成長のために
抜本的改革と企業価値の更なる向上を目指す

Phase1 2024-2027
＜事業構造の改革＞

Phase2 2028-2031
＜再成長＞

Phase3 2032-2035
＜進化・発展＞

Phase1

新たな理念体系のもと、
事業ポートフォリオの変革と
新たな技術への挑戦に挑む

Phase2

新技術への展開、
事業構造の変化を加速させ
組織再編を図っていく

Phase3

新たなビジネスモデルのもと、
収益基盤の強化を目指す
とともに社会課題の解決も
実践していく

基本戦略 (1) 成長戦略 ① -Growth Strategy-



重要KPI

Phase1 (2027年度)

●NB商品比率の上昇

目標 NB商品比率 50%

●海外売上高比率の上昇

目標 海外売上高 17億円

●EC事業の拡大

目標 EC売上高 2億円

商品統廃合

生産効率向上による利益率の向上

- ・整理する商品数：200品以上
- ・既存NB商品の改善・価格見直し



効果額 6億円を計画
(2025年度)

商品・メニュー開発

顧客要望に応える機動力の向上

- ・商品化決定基準の見直し
- ・分野別戦略と連携した商品開発

営業・メニュー提案の強化

メニュー提案先 (新規)

50%UP

(2023年度比)



輸出売上拡大

- ・輸出向けマヨソースの北米展開
- ・「日本の食品」輸出 EXPO」出展 (11月)



海外進出エリア検討



進出先、進出方法について検討中

EC事業



EC専用サイトの構築に着手

(物流委託会社の選定・EC向け商品開発等)

基本戦略 (1) 成長戦略 ② -Growth Strategy-



ブランディングの強化

一般メディア・展示会を通じて企業ブランド力の向上を目指す

▼「おいしい博覧会 2024夏」出展



約150名のメディア・SNSユーザーに
未来の食につながるサステナブルな商品をご紹介します

▼TV：情報番組にて商品が上位にランクイン

MBS/TBS系列
『サタデープラス』※

ひたすら試してランキング
「ポテトサラダ」回にて
2品ランクイン！

総合ランキング
& 全体の味
第1位



総合ランキング
第5位



※放送日時：2024年9月21日 朝7:59~9:25

©2024 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.

2024年10月・11月

当社グループ総合フェア2024 『WAKU-WAKU体験 WAKU-WAKUアイデア』



ご来場者数：約2,690名/約830社（東京・大阪合計）
メニュー提案数：約70メニュー

11月30日（土）
日経WOMAN EXPO

ブース出展予定
3商品の試食&小袋サンプリングを実施



基本戦略 (2) スマート化 -Automation and Innovation-



重要KPI
Phase1 (2027年度)

労働生産性
目標 **10% UP**

**バック
オフィス**

労働生産性の向上
(既存業務の効率化
による新規業務への
シフト)

販売

**人時生産性
の向上**
(時間当たりの
売上高)

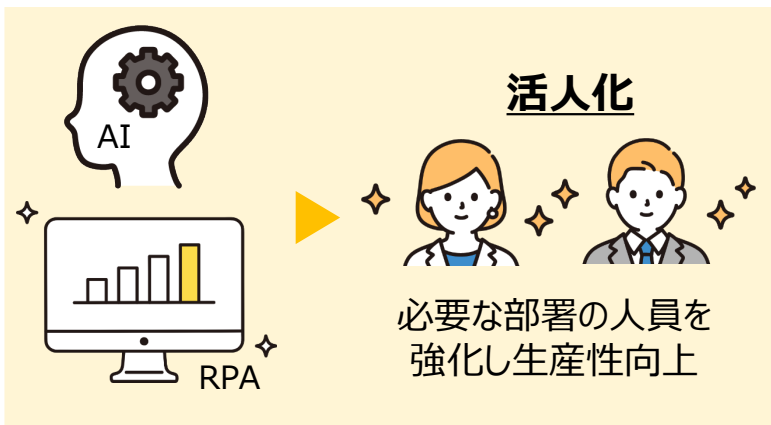
生産

**工場の
労働生産性向上**
(時間当たりの生産量)

DXの推進

**バック
オフィス**

各部署の業務の効率化



- **AIの導入** (議事録、文章作成、校正等)
- **RPAの活用** (業務改善の理解浸透・推進)
- **既存業務フロー・システムの可視化**
→効率化対象項目の整理

販売

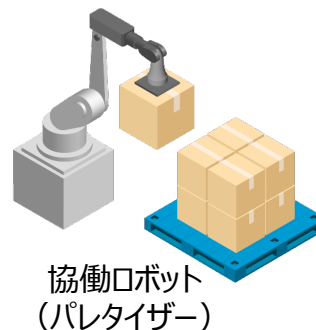
データ活用による利益率の向上

- **基幹システムの入替え**
✓商品単位での貢献利益の見える化
✓データを活用した商品分析を実施
→売るべき商品の抽出
- **営業支援ツールの導入**

生産

時間当たりの生産性を向上

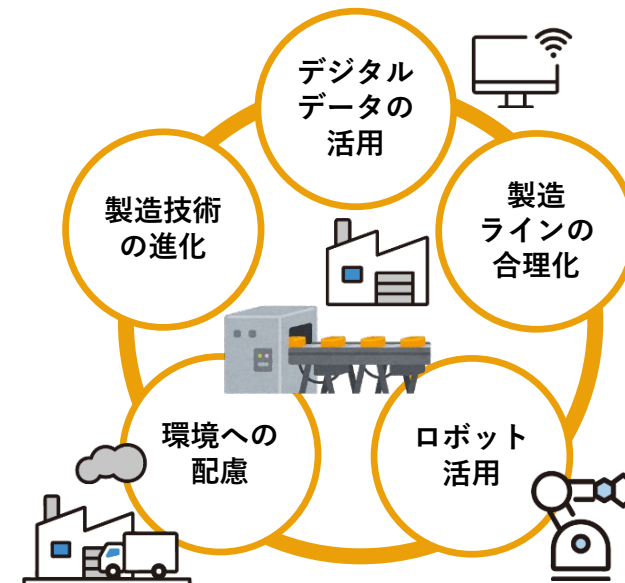
- **協働ロボット導入予定**
(西神戸工場・西日本工場)
- **人材教育手法の向上**
マニュアル動画の導入
(静岡富士山工場)



事業拠点の再編

**新技術の構築や生産の合理化・集約化・
環境効率化により、環境に配慮した工場や
生産性の向上を目指す**

**再編、統合に区分けし、
具体的な計画を策定中**



基本戦略 (3) 人材投資 -Investment in People-



重要KPI

Phase1 (2027年度)

エンゲージメント総合スコア

目標 **70pt** (2024年度 : 57.6pt)

自発的
貢献意欲

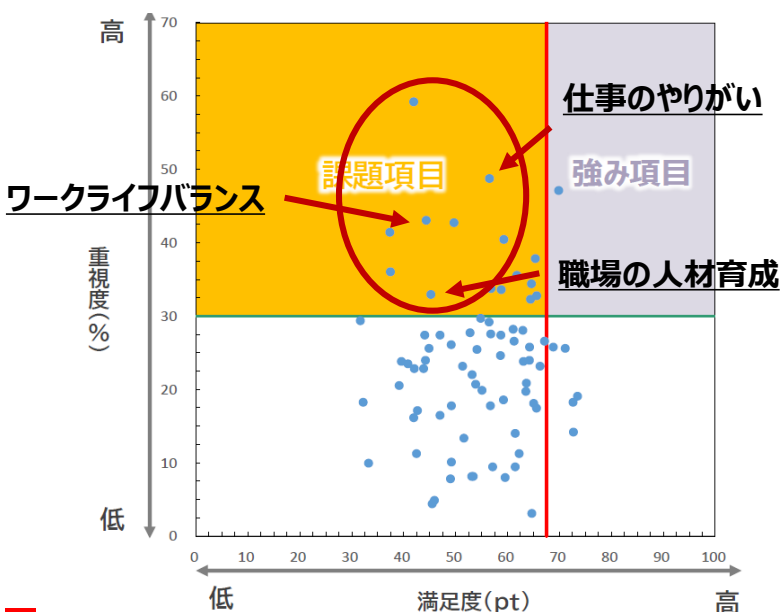
組織への愛着

会社ビジョン
への共感

従業員意識調査

従業員エンゲージメントの向上に向けた
意識調査の実施 (回答率 : 94.7%)

重視度が高く、満足度が低い項目を中心に
改善を進める



研修の充実

キャリアプランを実現する研修を導入

従業員向け
外部研修

上期実績 : **15講座**
計**27講座**実施予定

・社会人向け
ライブ動画学習サービスの導入

働きやすい職場の実現

多様性(ダイバーシティ)に対応した
働き方の導入

・仕事と育児の両立支援制度、
カムバック制度等 より一層の充実を図る
・資格取得に対する制度の充実

インナーブランディング

当社の理念やビジョン・活動等の共有や共感、
浸透から、より強固な組織に向けた変革

・取締役と従業員の意見交換会
・1on1ミーティングの実施



自由闊達に
意見が言いやすく
風通しの
良い環境に

・社内報の発行
・商品試食会の実施



「プライド」をもって
自社PRや
商品の生産、
販売の促進を

基本戦略 (4) サステナビリティと社会的責任 ①

-Natural resource sustainability,
Social responsibility-



重要KPI

Phase1 (2027年度)

●CO₂排出量の削減

目標 ▲25.4%
2019年度比 原単位

●モーダルシフトの導入

2019年度比
目標 モーダルシフト10%に
(2026年度目標)

●廃棄物削減

目標 ▲14.1%
2019年度比 原単位

エネルギーの可視化

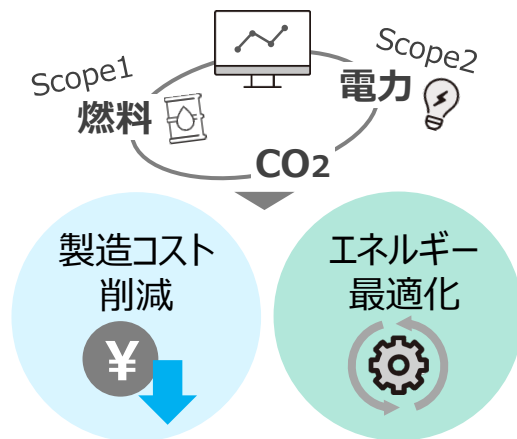
課題を把握し、解決策を検討・実行

▼エネルギー使用量の見える化

ラインごとに測定機器の設置を計画

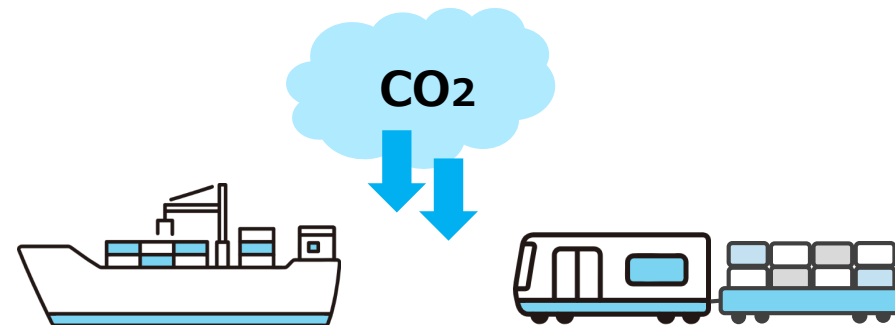
▼エネルギーの有効活用

ベントコンデンサーの導入 (御殿場工場) ▶ CO₂ 約73t/年削減
他工場へ水平展開の計画 (西日本工場等)



モーダルシフト

環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用への転換



▼モーダルシフトの活用

2023年度 : 2.0%
2024年度 : 2.5% (上期実績)



対象ルート選定と効果を検証

Before

設備由来の蒸気
大気中へ

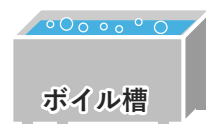


After

ベントコンデンサー

回収

エネルギー
として
再利用



ドレン水

基本戦略 (4) サステナビリティと社会的責任 ②

-Natural resource sustainability,
Social responsibility-



重要KPI

Phase1 (2027年度)

●CO2排出量の削減

目標 ▲25.4%
2019年度比 原単位

●モーダルシフトの導入

2019年度比
目標 モーダルシフト10%に
(2026年度目標)

●廃棄物削減

目標 ▲14.1%
2019年度比 原単位

廃棄物削減

サーキュラーエコノミーの実現に向けた対応

▼サーキュラーエコノミーの実現

- ・自社での段ボール循環型リサイクル (2024年4月～)
- ・卵殻活用の拡充を検討



▼アップサイクル素材の検討

第54回 食品産業技術功労賞 (サステナビリティ部門) を受賞



アップサイクル商品の
充実が評価

CDPスコア

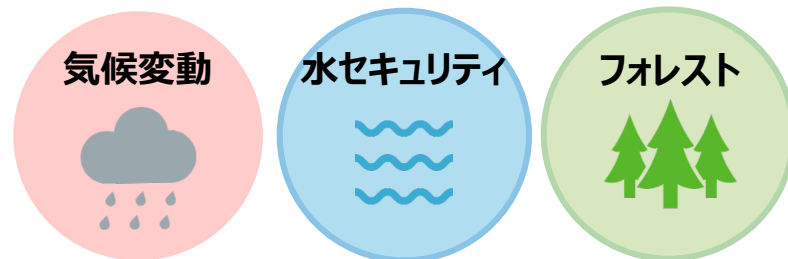


気候変動に対する活動の強化

2023年度 Bスコア → 2027年度 A-スコアを目標

2024年度

- ・水セキュリティ
 - ・フォレスト
- も実施



気候関連課題を
反映した事業計画・
予算策定



具体的な数値等
定量的なデータの
開示



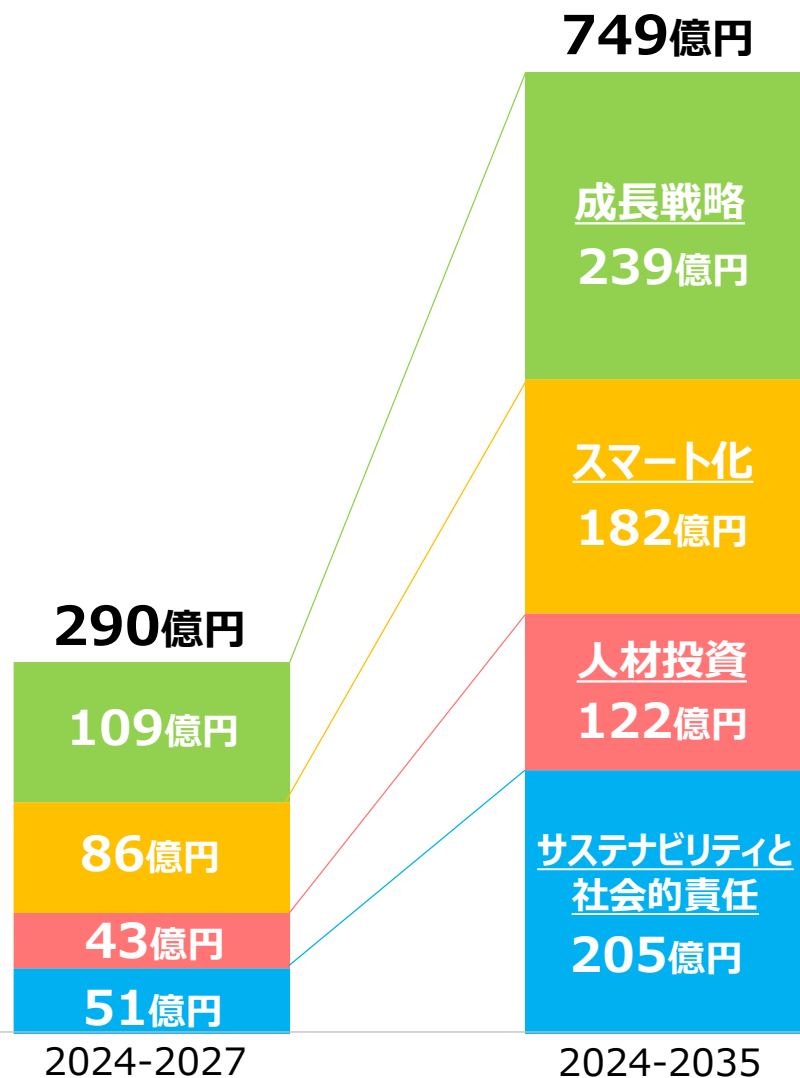
サプライヤーに対する
気候関連の
エンゲージメント活動



概略

詳細

Phase1 (2024-2027) ▶ Phase3合計 (2024-2035)



資本配分 (投資額)

成長戦略

- 海外進出 (M&A含む)
- 新規事業への投資
- システムへの投資
- 事業拠点の強化

新規事業展開等

| | |
|------|-------|
| 38億円 | 62億円 |
| — | 25億円 |
| 11億円 | 31億円 |
| 60億円 | 120億円 |

スマート化

- 事業拠点の再編
- DXの推進等

国内事業再編

| | |
|------|-------|
| 48億円 | 70億円 |
| 38億円 | 112億円 |

人材投資

- 教育・人材育成施策
- エンゲージメント向上施策

人材・ダイバーシティ・労働環境等

| | |
|------|------|
| 16億円 | 62億円 |
| 27億円 | 60億円 |

サステナビリティと社会的責任

- 株主還元
- 資本政策 (自己株式の取得)
- ESGへの投資

株主還元・環境投資

| | |
|------|-------|
| 23億円 | 104億円 |
| 14億円 | 45億円 |
| 14億円 | 54億円 |

KENKO Vision 2035

持続的な成長のために **抜本的改革と企業価値の更なる向上**を目指す

成長戦略

スマート化

人材投資

サステナビリティと
社会的責任

Phase1 2024-2027
＜事業構造の改革＞

Phase2 2028-2031
＜再成長＞

Phase3 2032-2035
＜進化・発展＞

2035年度目標

財務指標

連結売上高

1,250億円以上

連結営業利益

75億円以上

連結営業利益率

6%以上

ROE

8%以上

海外売上高比率

10%以上

株主還元

DOE
(株主資本配当率)

2.5%以上 (水準)

- I R お問い合わせ

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3-8-13
- 担当者 : 経営企画室 経営管理部 IR課
- 電話 : 03-5941-7682
- E-mail : ir@kenkomayo.co.jp

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。